

250808 第1回名古屋市障害者施策推進協議会
名古屋市民オンブズマンによるメモ

市職員 70 名以上 委員 18 名 マスコミ 15 人くらい 傍聴 5 名

10:01

健康福祉局企画課長 にいみ：始める

傍聴者 5 名

委員 20 名 18 名出席 会議成立

2 名欠席

座席表、意見書 机上配布

3 月に会議以降、委員の異動があった

白木→中村まみ

委員全て紹介したいが、1 ページに添付 座席表

様々な障害特性出席 発言 ゆっくりと分かりやすく話して

名前とページ数を

広沢市長あいさつ

広沢市長：おはよう

日頃より多大なご尽力ありがとう

2 年前 名古屋城バリアフリー市民討論会 差別事案

人権尊重、障害者差別解消 自治体ではあってはいけない

心を傷つけた 信頼を損ねた 深くお詫び

8 月 施策推進協議会から適切性、存在と対応など 検証したうえで再発防止策 意見書

去年 9 月 検証委員会からも最終報告

「職員の人権意識の希薄が遠因」

今年 4 月 障害者差別推進条例改正 市が対象でも紛争解決仕組み

包括的で実効性のある条例制定作る

障害の有無にかかわらずすべての人が暮らしやすく オール名古屋で

私 障害者施策歴史 市民との対話 多様性を認める

「市長はリーダーシップをはかってほしい」

名古屋城整備事業 5 月進め方総括まとめた

再発防止策に加え、様々な配慮の人と建設的対話

当事者の皆様の意見をしっかり聞いて進める

委員の皆様 引き続きご指導ご鞭撻を

にいみ部長：瀧会長に以降

瀧：平成6年に設置

市長、副市長が来たのははじめて 深刻な問題を含んでいる
時間が限られている

会議の進め方 事務局から総括について説明

各委員から、2分間、ご発言、ご質問を

再度事務局からご回答を 1分程度再質問を

1時間半と限られている

事務局から説明

渡辺名古屋城所長：説明する

資料3ページ 総括（概要）説明

観光文化交流局として何を反省して取り組むのか

もとは150ページ

去年9月に最終報告

- ・当日の対応不備

- ・目的の不明確さ 無理なスケジュール、人権意識希薄

総括は二度と過ちを犯さないように

2 最終方向に対する当局の受け止め

- ・人権感覚の希薄さ

- ・信頼を大きく損なった 失った信頼の回復につながるよう

3 振り返り

⑤エレベーター不設置 事前に相談することなく大きな批判

⑥昇降技術 意見を聞きながら公募と選定

事務局「なるべく上まで」 前市長「1-2階まで」 混乱

4 原因の整理とまとめ

- ・人権感覚の希薄

- ・情報提供不足 正確に理解していただくため

市民の理解に差を生じさせた

※スケジュール優先、職員の苦悩は説明せず

6 ページ 今後

人権意識の向上と障害者等当事者との建設的対話

- 観光文化交流局に人権監理者2名配置

- バリアフリー整備相談支援事業

- 今後市民向け説明会を開催する際は準備期間を設ける

8 ページ 今後の流れ

バリアフリー昇降設置階 説明

説明は以上

10:20

瀧：委員から質問を
順番を指定して名簿順で

入谷：質問をする？意見？

瀧：どちらでも

入谷：重度障害者 名古屋城問題 差別発言より前
なぜこんな問題が起きたのか ずっと考えている
エレベーター問題が起こる前 当事者が計画段階に入っていない
報告書を見ても違和感を感じる
バリアフリー 意見を聞くだけで何も反映されていない
差別発言あったとき 障害当事者参加が少ない すごく違和感
今の報告 最後の今後の事業の流れ「再スタート 当事者との建設的対話」
計画に参加するということが一つも書いていない これはおかしい
国際イベントがある アジア・パラ協議 好事例 建設的対話
委員会に入って意見を取り入れる 瑞穂競技場 障害者団体の申し入れ
ガイドラインができた 障害者の人たちだけではなく市議、行政、地域
全ての皆さんが計画の中に入って実現に向かっている
障害者 300 席 夢の実現に向けて建設的対話
計画の中に入っている 前向きな姿勢
この報告 今後の流れ 障害者が計画に入っていない
名古屋城 家族、友人と一緒にいきたいだけ
「みなさんと当たり前の動きがしたい」ただエレベーターをつけるということではな
いと思う
差別発言 「障害ある人に対応する」→一市民として参加できる
生活の一部
一市民の悩みを考える
市長、よろしくお願いします

10:26

荒井：視覚障害者協会
名古屋市全体で検証、名古屋市全体の人権感覚向上 切に希望
人権感覚 意識向上 公平が大切
名古屋市職員の皆様 公務員として、公平性、向上心
適性がある

研修を重ねても乗っからないとダメ
意識、感覚がないと
バリアフリーの実現が障害者の人権が向上？
「障害者の人権にとどまらず、すべての人の人権向上」
赤ちゃんも今後老人に
私たちの人権
現存名古屋城 陸軍病院の中から見た名古屋城 記述
きちんと残す 戦争の傷跡
命につながる

10：31

平野：聴言 感じたことは、障害者の差別 どうすればバリアフリーになるか
自分が障害者にならなければわからない
どこまで理解できるのか
エレベーターの問題 ボタンを押して閉まったとき
コミュニケーションができない
ワイドモニター 少ない
少しでも理解していただければ

10：34

菊池：手をつなぐ育成会
3つ書いてきた
1) 階段を使う人 使えない人も楽しめるよう
2) サポート 目が見えない、知的障害の人にも楽しめるように
3) 施設の設備だけでなく、人がサポートしてくれるように

10：36

橋井：身体障害者福祉連合会
手元に紙が配布されている いろんな障害の人がいる
部会長に承認いただいた
率直 情報不足 障害者だけではなく多くの市民 偏ってしまった
市長公約「木造復元」先に立った エレベーターはつけない
現在の技術、法律がある 耐震 冷暖房、電気、階段に手すり
法律に守られてつけられる
市民にどこまで伝わったのか
マスコミの責任は大きい 「市長 VS 障害者」ここが問題
市民に詳細が知らせなかった
現代の法律はある

徳川時代の権力者が作った城ではない

楽しく過ごす、外国の人も来る

バリアフリー 市民にもっと知らせない

障害者だけではなく、高齢者、子どもも

配慮をしっかりとしないと

「障害者だけだから自分には関係ない」人権条例でも提起しないと

マスコミの方が来ているので、「市長 VS 障害者」自重して

10：40

濱田：手をつなぐ育成会

名古屋城の話が復活できた

委員として参加してきた

2つ

- ・差別発言 市役所の人には反省 止められるようにする

ロールプレイング 模擬練習 意見を言った

今やられているのか、やる予定があるのか

知的障害、発達障害はわかりにくい

いやなことを言われたらどうするか キャラバン隊

市長にもやった、幹部にも

時間が限られていたので一部だけ

お手伝いもできる 当事者の役 差別発言の役

どう止めるのか やっていただかないと差別発言を止められない

- ・以前の市長「1階や2階まででいい」

人権感覚の希薄さ みんな言っている

今の市長をはじめ、市役所の方は障害のある人、高齢者、ベビーカー

5階まであげていただけるのか お聞きしたい

10：43

池山：6 ページ 今後

「市内部の認識一致」

名古屋市民全員に目に見える形で示してほしい

市長が冒頭「実効性のある」目に見えるように

天守閣の話が出ているが、石垣の問題はどうなったのか

お答えいただける方がいれば答えてほしい

10：45

高嶋：重症心身障害児（者）を守る会

息子は重度

友達とというよりはきょうだいと上に登りたい
バリアフリーがないとバラバラ
ずっと諦めてきたことが多かった
天守閣 エレベーターつけるつけない
普通に見れる景色が彼らは見れない
さも普通に「しょうがない」は欲しくない
長い間計画を立ててきた
動こうかな このような問題
担当者が丁寧に説明してくれていた
担当者と前市長 考え方が違う 共有されていない 思ってきた
「共有します」市長、副市長、担当
どのような感じで共有するのか 会議？
バリアフリーの本来の意義を考えて
障害は特別ではない 息子は中途障害
高齢者 バリアフリーを必要としている

10:48

岡田：自閉症協会

長い間名古屋市から案内 ご説明を受けていた
階段体験
新しい昇降設備ワークショップ エレベーターに匹敵
→活かされない
翻弄されてきたという実感
様々な障害者 名古屋城はシンボル
外国、障害のあるなしにかかわらず
皆さんが喜べるように
金シャチができたときパレード うちの前通った すごい
金シャチの名古屋城 バリアフリー 発達障害 目に見えない
高齢者、赤ちゃんも

2つ質問

- ・人権監理者 どんな方が任命？どんな仕事？
- ・8ページ 今後の流れ？
いつ、何年かかる？どれくらい？ 全くない
いろんな形で待たされた どれくらいかかるのか不安
先が見えない
時間の流れがわかれば

10:51

斎藤：わっぱの会

広沢市長が来ている 質問と要望

選挙の時 「エレベーターを設置する会」 公開質問状

丁寧な回答 「選挙が終わったら直ちにお会いしたい」

何回言っても「まだ無理」何か月も引き延ばされた

前市長は障害者団体と話をする意識がない

一貫してそう

2018年 前市長「エレベーターはつけない」発言

→障害者団体と接点

前市長「本物を見せることがバリアフリーだ」

小型エレベーター 「最低1階で合理的配慮と言える」全く理解できていない

市の当局 市長に説明しないと

2点目要望 河村市長の下では独裁的権力が強い

ものを言えない 分かっている人がバリアフリー、合理的配慮とは説明

問題以前に「前市長の独裁的体制が根底にある」

完全にスルーされている

前回 障害者計画を立てるとき

「なぜ木造復元はバリアフリー触れないのか？」

市「それを入れこむと市長の決裁が受けられない」

広沢市長にお願い 風通しの良い名古屋市にしてほしい

10:56

牛田：難病団体連合会

意見 資料をいただいた

3ページ 総括の目的「観光文化交流局として受け止め」

特定の部署が書いてある

名古屋市から事務所に何回も来た

説明を受けた 肩書は別として、もともとの素材 土木、建築、水道

バリアフリー、差別 語れるのか？気の毒

「そもそも名古屋市としての責任部署はどちらか？」

障害関連「それはうち」

今回の議論 そういう部局の名は何も出ていない

それでいいのか？

名古屋市のバリアフリー、差別防止 それなりの経過、歴史、積み上げがある

障害者団体とのやり取り

名古屋市としての責任部署が名前が出ていない

一部の職域の名称 その枠組みだけ おかしい

市の考え方 議論ができるように

所長は事務方

技術関係 電気屋さん

バリアフリー、話題 どれだけ共有されているか不安

来ていただいたのに一から説明しないといけない

市長からの挨拶 これは名古屋市の話をしている？観光文化交流局のこと？

11:01

北村：知的障害者

結論 名古屋城 ある意味名古屋市のシンボル

建て替えをすると、50年、100年 名古屋に残る建物である

建物としてはそう 建設過程 私たちは何の思いを載せるのか

何を大事にするのか

ウェルビーイング SDGs はかっていこう

今回の件 名古屋城建て替える 前回の発言があるなかで作る

市民の幸福につながっていくのか？→違うよね

- ・スケジュールありき

- ・結論ありきの進め方

モノを作る ウェルビーイング 弱者、子ども ご意見が反映される機会

少数の意見 非人道的意見で押しつぶしてはいけない

民主主義の大前提

誰も何も言えない

各部署 襟元を正して意見を聞く、発言をする

どのようにバリアフリー、障害者問題理解していくか

これで終わりにしないでほしい 続けていってほしい

歴史的に積み上げられて名古屋市を作っていったほしい

10:05

中村：特別支援教育

教育の立場から

名古屋市の子ども 名古屋城があるのは当たり前

歴史の授業でも名古屋城に触れる

特別支援教育も社会科

肢体不自由、病弱 5月1日 99名

通常の教室 介助多数

インクルーシブ教育 みんなで学ぶのが当たり前

障害を持つ子どもが我慢しないようにする

ハード面、ソフト面 人的配置も考えている

必要な時には「先生助けて」と言えるように

楽しみ、喜ぶように
だれもが安心して学べる環境を作って

11:08

瀧：学識経験者に意見

伊藤：中京大学

質問2つ 意見2つ

質問

- ・差別事案 検証最終報告
市民からより信頼2つ
差別解消条例 対応
実効性のある人権条例 どういう状況なのか？
牛田委員 観光文化交流局としては対応する立場にはない？
- ・8ページ目 岡田委員 今後の事業の流れ図示
スケジュールは未定でいいのか？

意見

- ・誤解を招くような表現をしない
今日は一言も「史実に忠実」なかった
「復元」
天守整備 バリアフリー施策 誤解を招く表現あった
言葉の定義をしっかりと
- ・8ページ目 入谷委員とかかわる
建設的対話は大切「できます、できません」ではなく
どうすれば実現するか？
バリアフリーの方針を立てるために建設的対話をする？
「完成しました」まで一貫して建設的対話を
設計時動線、建設中も当事者
設置するときの向き、高さ
考慮に入れて推進を

11:12

樋口：大同大学

2つ意見

- ・総括について、名古屋城天守閣問題 いたしかたない
違和感 障害者との対立構造が読み取れる
教育がなされる？大丈夫かな
バリアフリーをやらないといけないという空気感を打破したい

「バリアを生み出したのは計画側」 障害者側ではない
社会がバリアを作っている
推進協議会
アジパラがある ムーブメントづくりを
・今後の対応 バリアフリー整備相談事業 今までない
意見を聞くことを目的化しないで
名古屋城であれ、公共事業 整備されて利用される
問題があれば改善
使われるところまでがサイクル
あとから改善は非効率
皆さんと一緒に作り上げていく

11:15

鍛冶：質問 市内部認識一致していなかった
84 ページ 可能な限り昇降施設上層階設置を目指す
共有されているのか？
今後の流れ 議会報告、障害者説明
事業再スタート 具体的にどうなれば再スタート？
意見：最終報告、総括
バリアフリー誤った認識 意見の対立を生んだ
発信されていることを踏まえ、市民に対してもバリアフリー、合理的配慮
正しい情報を今まで以上に発信を
「バリアフリーの問題で事業が遅れている」という認識
石垣の問題など事実を踏まえて
あらたな対立を生まないように

11:18

高森：弁護士
2022 年日弁連「現在の名古屋城天守 エレベーター設置
再建にあえて設置しない方針
平等に利用、観覧したり
これまで保証されていたのに、合理的に差別することになる」
最上階まで設置
「エレベーターを設置しない、しない方針」発言、表明した時点で差別
すでに不当な差別的取扱いになっている
「すみません、反省しています」あいまいでは、
前市長が発言 市民に対して「障害者だからできないことがあってしょうがない。
がまんしろ」助長した

助長した差別を、「すみませんでした」ではそのまま残る
元に戻す、差別をなくす

「『エレベーターを設置しない』発言は差別でした、すみません、
エレベーターはつけるという前提で今後進める」と表明しないと。
市が率先してやらないと
単に研修しますではなく

11:22

瀧：市長意見を

広沢市長：個別の回答は局から

一番響いたのは「障害者はなってみないとわからない」肝に銘じる

「市長と職員の風通しがわるいのでは？」それに起因する？

ここについては気を配るように 風通しの良い職場でないといい仕事ができない
威圧的ではだめ 職員の意見が言えるように

みんなで名古屋城 作っていく 我々職員一同共有したい

皆様方と一緒につくっていく

「当事者 計画に入っていない」どのような形で入っていただくか検討

斎藤委員「私に会いたいののに会えない」着任以来忙しい

なるべく早くお会いしたい

個別の回答は局から

渡辺所長：複数の委員から頂戴した意見

橋井委員 バリアフリーは障害者だけでなく、すべての方

大事 しっかり頭に入れ、市民に説明したい

当事者参画 入谷委員など アジア大会 瑞穂競技場好事例

勉強させていただきたい

本年度 バリアフリー相談事業 ご意見をいただきながらバリアフリー検討

その際にご意見をいただいた 聞くだけではなく反映される

鍛冶委員 どうすればできるか

実質的にできるように 木造復元反映できるように

情報不足 橋井委員、鍛冶委員

史実性もあるが、現在の法制 現代の設備はつける

発信できていたかということそうではない

バリアフリーの正しい理解 情報提供の際 人権侵害を生み出さないよう

濱田委員、鍛冶委員 5階まで上がれるのか？

方針 前市長は「上層階か、1-2階か」

現在はなるべく上層階 開発中

市長、副市長を含めて同じ方針
入谷委員、高嶋委員 風通しのいい職場環境
木造天守の検討 市長、副市長 3人に加わってもらって現場とともに先に進む
スケジュール 牛田委員 資料一番最後につけた
時間軸が記載ない
担当しているもの 早く進めたい
バリアフリー 課題多々ある 慎重に進めるべき
石垣の話もある
バリアフリー 私たちだけではなく拙速にならないように
いつまでというスケジュールは私どもでは言えない
濱田委員 ロールプレイング 市全体で個別に取り組まれているか
健康福祉局から

スポーツ市民局新たな人権：人権条例 再発防止策 進捗状況
現在 4月14日第1回 7月14日第2回
女性、子ども、高齢者、外国人、性的マイノリティ
まずは意見を頂戴している
人権監理者 名古屋城検証 しっかり主体的な判断
問題視して体制 各局室に1名以上
局の倫理を担当する課長以上 基本は総務課長
人権的な課題 市民が自由に発言イベント チェックリストを作って確認
濱田委員：差別対象マニュアル 動けなかった
新たにガイドライン どう発言を進めるか
全面改訂 人権監理者に配布
どの人が対応するのか チェックリスト 現場と確認する

渡辺所長：昇降設備 言葉足らず
「可能な限り上層階」 現在構造的に大丈夫なのか？
設備として検証中
構造的、史実的、防災、避難、安全面
皆様のご意見も頂戴しながら
池山委員：石垣の話 残っている大事な部分
お城全体の石垣チェック 弱い部分を補修する

瀧：今回回答できないことは後日回答でも

渡辺所長：文書で回答する

瀧：急いではなかったかと思う

渡辺所長：思いだけ、スケジュールだけで進めてきたのは反省
手順を踏んで、関係者の意見を聞いて進めたい
バリアフリー以外の各課題も
現時点でいつまでに、というものはない

瀧：再スタートの認識の差
これまでの積み上げ
行政 バリアフリー推進の立場 推し進めていかないと
「市民に決めさせる、当事者に決めさせる」のではなく、市として決める
積み上げてきた行政と当事者との関係性 再構築する意識で
今年度2回推進協がある
ご意見 市長に伝えたい
時間の問題 次の議題

11:40

名古屋市：報告9ページ
電動車いす市バス
8月1日から運用している
安全確保が重要 4点止め原則→少なくとも2点止め

障害者団体連絡会：乗車拒否から1年半 ようやく ありがたい
運転手の技術ができるか？

にいみ障害企画課長：交通局には伝えた
現場にきめ細やかな研修をするように

11:48

瀧：長時間活発
市長、副市長参加ありがとう
これからがはじまり もう一回積み上げていく
情報公開がとても大事 適宜我々の意見も聞いて
市民発信もして
委員の皆さんありがとう

にいみ課長：多数のご意見ありがとう 以上で終わり

11:49